

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	182	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	石けん利用の推進	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・商工観光課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.1人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	1,681千円	(うち人件費)	950千円			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	11102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点1	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	手賀沼の水質を改善するため、下水道の整備や早期接続の促進、高度処理型合併処理浄化槽の設置補助など、生活排水に対して適正な処理を行うための取り組みを推進します。			事業目的	石けんの利用をとおして、私たちの生活と環境との関わりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化など環境改善につなげる。					
(3) 事業内容	内容	我孫子市石けん利用推進協議会委員により石けん利用の推進をおこなうため、「消費生活展」など各種イベントにおいて、安全な石けん利用推進をとおして環境改善の啓発を行う。			当該年度執行計画	石けん利用の推進として、産業まつり、消費生活展、石けんミニ講座などのイベントへの参加により啓発活動を行う。					
		当該年度活動結果指標	呼びかけをした人数	単位	名	想定値	3,000				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	イベントなどを通して、より多くの市民に呼びかけて行く。				直接	呼びかけをした人数		人	3,000	3,000	
3年後	同上				-	同上			0	3,000	
最終(概ね5年後)	同上				-	同上			0	3,000	
(7) 事業実施上の課題と対応	石けんの利用を広めるため、学習会等機会を増やし、普及に努める。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		対策審議会委員報酬費	32	対策審議会委員報酬	39	対策審議会委員報酬	39	対策審議会委員報酬	39		
		推進協議会委員報酬費	42	推進協議会委員報酬費	80	推進協議会委員報酬費	80	推進協議会委員報酬費	80		
		消耗品他	345	消耗品他	392	消耗品他	392	消耗品他	329		
嘱託職員人件費	220	嘱託職員人件費	220	嘱託職員人件費	220	嘱託職員人件費	220				
予算(済)額	合計		639	合計		731	合計		731	合計	668
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	639		731		731		668			
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他		0		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1		0.1		0.1		0.1			
	正職員人件費	950		950		950		950			
	嘱託職員報酬額	220		220		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	1,589		1,681		1,681		1,618			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.53千円/名		0.56千円/名								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	石けんの利用をとおして、私たちの生活と環境との関わりに関心を持ってもらい、手賀沼の水質浄化など、環境改善につなげる必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		各種イベントやミニ学習会を通じ、参加者に使用体験をしてもらう。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		環境負荷が少ないといわれているせけんについて理解してもらい、利用推進を図る。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(人)	目標値(b)(人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	3,000	3,000	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	1,681	△92	<削減の内容>		<超過理由等>				
事業費削減率(%)		△5.79							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	178.47	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
			人	10万円					

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (183), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for 2013-2016.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状と対応 (推進, 拡充, etc.), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (184), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final summary table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (186), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	187	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業 商工会育成事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商工観光課						
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐		■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.4人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	14,250千円 (うち人件費 3,800千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市商業活性化ビジョン		
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業の活性化を図るため、商工会や商店会などの商業団体が、市民、農業者などと連携しながら行う、地域に密着したイベントなどの活動を支援します。			事業目的	小規模事業者の経営指導やイベント等の地域振興事業に取り組んでいる我孫子市商工会の活動を支援し、市内の商工業の振興を図る。							
(3) 事業内容	内容	我孫子市商工会の活動を支援するため、補助金を交付する。また、情報交換及び連携を密に行い、市の商工業の振興に寄与する取り組みを検討・推進する。			当該年度執行計画	・補助金の交付：平成24年5月 ※年間を通して我孫子市商工会との連携を密に行い、市の商工業の振興に寄与する取り組みを検討・推進する。							
		当該年度活動結果指標	我孫子市商工会への加入率 (市内の事業所数/商工会の会員数)		単位	%	想定値	51.5		実績値			
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該(開始)年度	我孫子市商工会と連携し、市内の商工業の活性化を図る。				直接	我孫子市商工会への加入率		%	51.2	51.5			
3年後	我孫子市商工会と連携し、市内の商工業の活性化を図る。				直接	我孫子市商工会への加入率		%	51.2	52			
最終(概ね5年後)	我孫子市商工会と連携し、市内の商工業の活性化を図る。				直接	我孫子市商工会への加入率		%	51.2	52.5			
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			商工会運営補助金	10,450		我孫子市商工会事業費補助金	10,450		我孫子市商工会事業費補助金	10,450		我孫子市商工会事業費補助金	10,450
		予算(済)額	合計	10,450	合計	10,450	合計	10,450	合計	10,450			
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
		一般財源		10,450		10,450		10,450		10,450			
		その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0			
		換算人数(人)		0.4		0.4		0.4		0.4			
正職員人件費		3,800		3,800		3,800		3,800					
嘱託職員報酬額		0		0		0		0					
臨時職員賃金額		0		0		0		0					
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		14,250		14,250		14,250		14,250					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		279.41千円/%		276.7千円/%									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	長期にわたる景気低迷の影響で、特に小規模事業者の経営において大変厳しい状況が続いている。こうしたなか、我孫子市商工業の振興を図るためには、小規模事業者の経営改善指導やイベント等の地域振興事業を行っている我孫子市商工会への支援及び我孫子市商工会と連携した取り組みが必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input checked="" type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			工夫の具体的な内容 我孫子市商工会の会員である市内事業者の自主的な活動(イベント等)と連携している。 実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ○不要	
	環境への配慮	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。			実施した具体的な内容 環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック <input type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input checked="" type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(%)		達成率(%) (f/b)×100	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 <input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実施状況 実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (190), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, implementation details, and financial data for fiscal years 2012-2015.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria (necessity, participation, environment, etc.) and a checklist for improvement.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for current status and future directions.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	193	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	手賀沼周遊レンタサイクル事業	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・商工観光課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.02人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,948千円		当該(開始)年度	(当初)	2,138千円 (うち人件費 190千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、文化・歴史など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用しながら、交流人口の拡大に努めます。			事業目的	手賀沼周辺を訪れる観光客の利便性を確保するとともにレクリエーションによる体力増進の場を提供するためレンタサイクル事業費の負担を減らす事により、交流人口の拡大を図る。					
(3) 事業内容	内容	(財)我孫子市あゆみの郷・都市建設公社が行う手賀沼周遊レンタサイクル事業は、柏市側ステーション(中央体育館・道の駅しようなん)、我孫子市側ステーション(手賀沼公園・鳥の博物館・サイクルパーク我孫子南)に自転車を設置し、市民や観光の利便性を図るもので、市はこの事業費を負担し事業が推進できるよう支援する。			当該年度執行計画	24年度当初に負担金を交付する。(平成24年4月1日から平成25年3月31日までの土曜・日曜・祝日・春休み期間・夏休み期間の営業。12月から2月の3ヶ月間休業)					
		当該年度活動結果指標	レンタサイクル利用者数	単位	人	想定値	3,500		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	手賀沼周辺を訪れる観光客のレンタサイクル利用者数			直接	利用者数	人	2,690	3,500			
3年後	手賀沼周辺を訪れる観光客のレンタサイクル利用者数			直接	利用者数	人	0	4,000			
最終(概ね5年後)	手賀沼周辺を訪れる観光客のレンタサイクル利用者数			直接	利用者数	人	0	5,000			
(7) 事業実施上の課題と対応	利用者が少ない。さらにPRする必要がある。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			レンタサイクル事業運営費負担金	1,948		レンタサイクル事業運営費負担金	1,948		レンタサイクル事業運営費負担金	1,948	
		予算(済)額	合計	1,948	合計	1,948	合計	1,948	合計	0	
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源		1,948		1,948		1,948		0			
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0			
換算人数(人)		0.01		0.02		0.02		0			
正職員人件費		95		190		0		0			
嘱託職員報酬額		0		0		0		0			
臨時職員賃金額		0		0		0		0			
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		2,043		2,138		2,138		0			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		0.82千円/人		0.61千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	手賀沼周辺を訪れる観光客や市民の利便性を確保するとともに、レクリエーションによる体力増進の場を提供するための手賀沼周遊レンタサイクル事業は、交流人口の拡大や我孫子の自然を肌で感じられることの出来る事業です。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> (財)あゆみの郷・都市建設公社						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		手賀沼周遊施設や駅にステーションを設置し、手賀沼の自然環境へ訪れる人にレンタサイクルを利用してもらうことで環境負荷低減に貢献している。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	2,690	3,500	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	163.7	単位 費用単位 人 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (197), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, citizen participation, and cost efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status row.

Final evaluation and improvement direction section with a comment field.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	199	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 水生植物園の管理運営とあやめまつり	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商工観光課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input checked="" type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成24年度 ~		⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.1人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	13,689千円 (うち人件費 950千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、文化・歴史など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用しながら、交流人口の拡大に努めます。			事業目的	手賀沼周辺の良好な景観と鳥・手賀沼などの豊かな自然の中で、水生植物園を管理・管理運営する。この事業を運営することにより、多くの人に来園してもらい観光推進を図り、併せて、商業の活性化につなげます。					
(3) 事業内容	内容	農事組合法人あやめ組に整備管理を委託し、手賀沼周辺の良好な景観と、鳥・手賀沼と豊かな自然の中で観光資源をいかした水生植物園に5月の藤、6月の花菖蒲、10月のコスモスを栽培し、多くの方に来園してもらおう。			当該年度執行計画	手賀沼周辺の良好な景観と豊かな自然の中で水生植物園を整備し、5月に開花する藤、6月上旬より2週間あやめまつりを開催し期間中にイベントを行う。10月コスモス開花により多くの来場者を増やし、観光の振興を図る。					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	人	想定値	15,000	
当該(開始)年度	花の開花期間にイベントなどを催し、多くの来園者を増やす。			直接	来場者数		人	実績値	15,000	(6)目標値 15,000	
3年後				直接					0	0	
最終(概ね5年後)				直接					0	0	
(7) 事業実施上の課題と対応	年間を通じた来園者を確保する。・・・市のホームページなどでPRする。気象条件に左右されるためイベント開催日程に合わせて栽培する難しさがある。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度			
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	
		水生植物園整備管理委託料	12,389		水生植物園整備管理委託料 あやめまつり負担金	11,389 1,350					
	合計	12,389	合計	12,739	合計	0	合計	0			
	予算(済)額	12,389	実績値(千円)	12,739	0	0					
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0			
一般財源	12,389	12,389	12,739	0	0						
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0			
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.1	0.1	0.1	0.1						
正職員人件費	950	950	950	950	950						
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0						
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0						
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	13,339	13,689	950	950							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.89千円/人	0.91千円/人									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	この施設は、鳥の博物館、県立手賀沼親水広場が隣接しており、植物・鳥・魚など自然に関わる拠点の一つとして位置づけられている。また、市観光イベントの活性化、充実を図るため、花菖蒲開花時期に合わせ、あやめまつりを開催するものである。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input checked="" type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	<input type="checkbox"/> 事業計画時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> 事業実施時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> 管理・運営に市民の参画あり <input type="checkbox"/> 市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> 市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <その他の内容> まつりの実行委員会を組織。						<input type="checkbox"/> 当初期待した以上 <input type="checkbox"/> 当初期待したとおり <input type="checkbox"/> 当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	<input checked="" type="checkbox"/> 自然環境を生かしている <input checked="" type="checkbox"/> 生き物と共存している <input checked="" type="checkbox"/> 手賀沼を意識している <input checked="" type="checkbox"/> 環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>		手賀沼周辺の自然観光拠点のひとつである。				<input type="checkbox"/> 想定どおり <input type="checkbox"/> 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	15,000	目標値(b) (人)	15,000	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> 現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> 現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> 適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f) (人)		達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		
	事業費(c) (千円)	13,689	事業費削減額(d) (千円)	△350	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<input type="checkbox"/> 想定事業費未満 <input type="checkbox"/> 概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> 想定事業費超過 <input type="checkbox"/> 事前の想定どおり <input type="checkbox"/> 事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		△2.62		<削減の内容>		<超過理由等>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	109.58	単位 費用単位	人	10万円	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<input type="checkbox"/> 目標値以上 <input type="checkbox"/> 目標値と同程度 <input type="checkbox"/> 目標値以下		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (201), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等, ⑪単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定は適切か?, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	203	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	中小企業への資金融資		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・商工観光課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.32人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	136,892千円	(うち人件費)	3,040千円	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	地元企業が活性化できるよう、融資制度の充実を図るとともに、各種研究機関や東葛テクノプラザなどの企業支援機関と連携し、中小企業の経営の安定化や設備の拡充を支援します。			事業目的	中小企業者が必要とする資金を、千葉県信用保証協会の信用保証に基づき貸付を行う。				
(3) 事業内容	内容	千葉県信用保証協会及び金融機関の協力を得て、適切な事業計画のもとに事業を営む市内中小企業者に対して、経営の合理化、企業の安定に要する事業資金（運転・設備）の貸付を行う。また、貸付けた中小企業者に対して、利子補給を行う。			当該年度執行計画	・市内に店舗、工場、事業所等を有し、1年以上事業を営み市税を完納している法人、個人に事業資金（運転・設備資金）の貸付を行う。 ・貸付けた中小企業者に対して、利子補給（運転1.5%、設備資金1.8%）を行う。				
		当該年度活動結果指標	融資(新規)件数	単位	件	想定値	50	実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	中小企業者が必要とする資金を、信用保証協会の信用保証に基づき貸付を行う。				直接	融資(新規)件数		件	0	50
3年後	中小企業者が必要とする資金を、信用保証協会の信用保証に基づき貸付を行う。				直接	融資(新規)件数		件	0	50
最終(概ね5年後)	中小企業者が必要とする資金を、信用保証協会の信用保証に基づき貸付を行う。				直接	融資(新規)件数		件	0	50
(7) 事業実施上の課題と対応	融資は、中小企業者の負担を減らすため、出来る限り低利で貸付を行うことが望まれるが、金融機関との融資利率の調整に専門的知識が必要であり、職員での対応には限界がある。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度	
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			中小企業預託資金融資	120,000		中小企業預託資金融資	120,000		中小企業預託資金融資	120,000
			利子補給金	10,581		利子補給金	12,540		利子補給金	12,540
			消耗品	10		消耗品	12		消耗品	12
			嘱託職員人件費	1,000		嘱託職員人件費	1,300		嘱託職員人件費	1,300
			その他の財源	0		その他の財源	0		その他の財源	0
			換算人数(人)	0.45		換算人数(人)	0.32		換算人数(人)	0.32
			正職員人件費	4,275		正職員人件費	3,040		正職員人件費	3,040
			嘱託職員報酬額	1,000		嘱託職員報酬額	1,000		嘱託職員報酬額	0
	臨時職員賃金額	0		臨時職員賃金額	0		臨時職員賃金額	0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	135,866		事業費(予算(済)額+正職員人件費)	136,892		事業費(予算(済)額+正職員人件費)	136,892		
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2,612.81千円/件		2,737.84千円/件						
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計	131,591	合計	133,852	合計	133,852	合計	133,852	
	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		131,591		133,852		133,852		133,852	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.45		0.32		0.32		0.32	
	正職員人件費		4,275		3,040		3,040		3,040	
	嘱託職員報酬額		1,000		1,000		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		135,866		136,892		136,892		136,892	

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	経営環境の厳しい中小企業者が経営の安定化を図ることや、技術の向上・規模拡大を目指したい中小企業者に対して、民間金融機関だけではできない事業資金（運転・設備資金）を貸し付ける制度が必要不可欠である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	<その他の内容> <その他の内容> 千葉県信用保証協会及び金融機関の協力を得て、貸付を行うため。		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	205	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	我孫子市産業まつり		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・商工観光課	
	③事業主体	○市 ●その他（産業まつり実行委員会）			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市				
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	5人（換算人数）		0.5人		
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	6,550千円	（うち人件費）	4,750千円	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）我孫子市商業活性化ビジョン
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業の活性化を図るため、商工会や商店会などの商業団体が、市民、農業者などと連携しながら行う、地域に密着したイベントなどの活動を支援します。			事業目的	市内の産業や企業を来場者に紹介し、市内での消費拡大を図る。				
(3) 事業内容	内容	市、商工会、我孫子市青年会議所で「産業まつり実行委員会」を組織し、市内の産業を紹介する企業展示や青空市、アトラクションなどのイベントを開催し、市内産品の消費拡大や今後の産業振興、地域文化の向上発展を図る。			当該年度執行計画	平成24年6月から、産業まつり実行委員会を毎月1回～2回開催。第31回産業まつりは、平成24年10月開催予定。				
		当該年度活動結果指標	来場者数	単位	人	想定値	16,500	実績値		
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該（開始）年度	市内の商工業の紹介をし企業展示及び市内物産の振興を図る				直接	来場者数		人	16,000	16,500
3年後	市内の商工業の紹介をし企業展示及び市内物産の振興を図る				直接	来場者数		人	0	17,000
最終（概ね5年後）	市内の商工業の紹介をし企業展示及び市内物産の振興を図る				直接	来場者数		人	0	17,500
(7) 事業実施上の課題と対応	産業まつりは、市内の産業の展示や販売することで、市内産業振興と産品の消費拡大を目的としたイベントである。商工業者等の出店希望は増加しており、区画配置等によって工夫はしているが、残念ながらお断りしている団体がでている。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			産業まつり負担金	1,710		産業まつり負担金	1,700		産業まつり負担金	1,700
			嘱託職員人件費	326		嘱託職員報酬・共済費	100		嘱託職員報酬・共済費	100
			合計	2,036		合計	1,800		合計	1,800
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計		合計		合計		合計		
	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
(10) 人件費等	一般財源	2,036		1,800		1,800		1,800		
	その他の財源	0		0		0		0		
	換算人数(人)	0.37		0.5		0.5		0.5		
	正職員人件費	3,515		4,750		4,750		4,750		
(11) 単位費用	嘱託職員報酬額	326		326		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	5,551		6,550		6,550		6,550			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0.37千円/人		0.4千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討		
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	市内中小企業にとって厳しい状況が続いており、市内産品の消費拡大のためにも市内の産業、企業等を紹介するこの事業は必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要		
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ●②自治体である市が推進すべきである（理由） <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他	<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容	○要 ○不要	
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	商工会、青年会議所と実行委員会を組織している。							○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要	
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>該当なし。		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック <input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
効率性	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策 <input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <削減の内容> 実行委員会自己財源の増による。		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要	

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	206	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	住工混在の解消	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	環境経済部・商工観光課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成24年度 ~		⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.5人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	4,789千円 (うち人件費 4,750千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21301	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	住宅地に点在している工場等の解消を図り、企業相互間の関連性を強め、相乗効果で企業が活性化できるよう、企業の集団化に取り組みます。			事業目的	住環境の改善を図るため、住工混在の解消へ向けて工業系の用地を整備し、企業の集団化を推進する。					
(3) 事業内容	内容	住工混在対策の受け皿となる用地について情報収集・検討を行い、喫緊の課題として住工混在の解消に努める。			当該年度執行計画	商工会会員を含んで構成する住工混在解消協議会や移転を検討する事業所と意見交換しながら、住工混在対策の受け皿となる用地の確保に向けて、関係機関や事業者と協議を進める。					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	件	想定値	10
当該(開始)年度	住工混在対策のための情報収集・協議				直接	情報収集量		件	0	実績値	10
3年後	住工混在対策のための情報収集・協議				直接	情報収集量		件	0	10	10
最終(概ね5年後)	住工混在対策のための情報収集・協議				直接	情報収集量		件	0	10	10
(7) 事業実施上の課題と対応	住工混在対策のために、用地確保が必要となる。(上位計画の見直しにより、可能な場所の選定を行う。)				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		出張旅費 工業振興基本方針の策定	23		出張旅費 (用地協議)4人*5回*1,300円 (関係機関)2人*5回*1,300円	26 13			出張旅費 (用地協議)4人*5回*1,300円 (関係機関)2人*5回*1,300円	26 13	
		合計	23		合計	39			合計	39	
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計		23	合計	39	合計	39	合計	39	
	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源		23		39		39		39	39	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.35		0.5		0.5		0.5			
	正職員人件費	3,325		4,750		4,750		4,750			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	3,348		4,789		4,789		4,789			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	669.6千円/件		478.9千円/件								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市においては、住工混在解消は、工場の操業者及び近隣居住者双方にとって大きな課題となっている。そのため、工業系土地利用調査研究報告を踏まえて、受け皿となる用地の検討を行い、企業の集団化を進める必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 商工会が事務局となっている「住工混在解消協議会」を中心として協議を進める。			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				○要 ○不要	
	環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 住工混在解消対策において、環境負担を減らす努力を行う。			実施した具体的な内容 環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない ■④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(件)		達成率(%) (f/b)×100	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 ■⑦その他 <削減の内容>		実施状況 実績値(g)(千円)		対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	207	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	中小企業退職金共済金補助金		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・商工観光課	
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市				
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.02人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 910千円 (うち人件費 190千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	地元企業が活性化できるよう、融資制度の充実を図るなど、必要な支援策の整備に取り組むとともに、各種研究機関や東葛テクノプラザなどの企業支援機関と連携し、中小企業の経営の安定化や設備の拡充を支援します。			事業目的	中小企業の経営の安定化を図るため、退職金共済契約に基づき掛金を支払っている中小企業者に対し補助する。				
(3) 事業内容	内容	中小企業で働く従業員のため、中小企業退職金共済・特定退職金共済の退職金制度に新規加入契約し、一年間の掛金が支払われている場合にその一部を事業主に補助する。			当該年度執行計画	中小企業退職金共済事業本部からの新規加入者納付リストを毎年1月に入手、交付要件を確認し事業主に対し掛金の一部を3月に補助する。(補助金の額は1人1回、12,000円を限度とする。)				
		当該年度活動結果指標	補助対象者数	単位	人	想定値	60			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値 (6) 目標値	
当該(開始)年度	従業員の雇用環境の安定を図ってもらう。				直接	補助対象者数		人	0 60	
3年後	従業員の雇用環境の安定を図ってもらう。				直接	補助対象者数		人	0 60	
最終(概ね5年後)	従業員の雇用環境の安定を図ってもらう。				直接	補助対象者数		人	0 60	
(7) 事業実施上の課題と対応	12月分掛金の最終納付が1月になる事業者があり、当初リストには記載されていないため、その事業者への市からの通知が遅れてしまう。確定リストは2月になるため、中小企業退職金共済事業本部へ発送をなるべく早くするように依頼する。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			中小企業退職金共済掛金補助金	2,062		中小企業退職金共済掛金補助金	720		中小企業退職金共済掛金補助金	720
		予算(済)額	合計	2,062	合計	720	合計	720	合計	720
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
		一般財源		2,062		720		720		720
		その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
		換算人数(人)		0.07		0.02		0.02		0.02
正職員人件費		665		190		190		190		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		2,727		910		910		910		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		15.41千円/人		15.17千円/人						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	中小企業従業員の福祉の向上と中小企業の安定化を図るには、従業員の退職金制度への加入は必要不可欠なものであり、経営環境が厳しい中小企業者にとっては負担増となっているため、掛金の一部を市が補助する必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	60	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	910	1,817	<削減の内容> 人件費の削減。		<超過理由等>				
事業費削減率(%)									
66.63									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	6.59	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		人	10万円						

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (209), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項 (費用), (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1) 目標設定は適切か?, (2) 事業費削減の工夫を, (3) 目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード 210 課コード 0403 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	211	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	消費生活モニターの活用・促進		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	環境経済部・商工観光課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	1人 (換算人数 0.05人)						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 845千円 (うち人件費 475千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知恵を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者問題に関する各種講座や消費生活講座などを開催し、消費者への啓発を進めるとともに、市内小中学校で行われている消費者教育の場に積極的な情報提供を行います。また、消費者が健康で安全に生活できるよう、消費生活モニターに会議や研究会、講演会等を通じて知識・情報を習得してもらい、その知識・情報をあらゆる機会に広く啓発してもらう。			事業目的	市民の消費生活の実態を把握し、それを市の消費者行政に反映させ、市民生活の向上と安全を図る。						
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	モニター会議の開催 研究会・消費生活講座への参加						
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)	会議・研究会・講演会への参加			指標種類	指標		単位	人	想定値	50	
当該(開始)年度					直接	会議・研究会・講演会へモニターが参加する延べ人数		人		実績値	0	
3年後					直接	同上		人		実績値	0	
最終(概ね5年後)					直接	同上		人		実績値	0	
(7) 事業実施上の課題と対応	モニターが得た情報・知識をどのように発信していくかを検討していく。				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度				
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		消耗品 食料費 報償費	0 0 5		消耗品 研修報償費	10 30		消耗品 研修報償費	10 30		消耗品 研修報償費	10 30
		嘱託職員人件費	330		嘱託職員人件費	330		嘱託職員人件費	330		嘱託職員人件費	330
		合計	335		合計	370		合計	370		合計	370
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		335		370		370		370		370	
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.05		0.05		0.05		0.05		0.05	
	正職員人件費		475		475		475		475		475	
	嘱託職員報酬額		330		330		330		330		330	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		0	
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		810		845		845		845		845	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	81千円/人		16.9千円/人									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市民の目から見た消費生活上の日常課題、食品表示の重要性を啓発するために必要である。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				改善検討	○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 ＜その他の内容＞				改善検討	○要 ○不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞			工夫の具体的な内容 公募によるモニターが中心となって事業を進める。				改善検討	○要 ○不要	
	環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 該当なし			実施した具体的な内容 実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				改善検討	○要 ○不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f) (人) 達成率(%) (f/b×100)		○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞		改善検討	○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c) (千円) 事業費削減額(d) (千円) 845 △35 事業費削減率(%) △4.32	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 ＜削減の内容＞		実施状況 実績値(g) (千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜想定どおり削減できなかった原因＞		○要 ○不要		
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 ＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞		改善検討	○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	212	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	消費生活展の実施		実施計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		②部課名	環境経済部・商工観光課		
	③事業主体	<input checked="" type="radio"/> 市 <input type="radio"/> その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.2人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,220千円 (うち人件費 1,900千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	41401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知恵を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費者問題に関する各種講座や消費生活展などを開催し、消費者への啓発を進めるとともに、市内小中学校で行われている消費者教育の場に積極的な情報提供を行います。また、消費者が健康で安全に生活できるよう、消費生活展25年2月11・12日の土・日に、あびこショッピングプラザにおいて、「我孫子消費者の会」、「NPOせっけんの街」「エコビュアあびこ」や「我孫子市石けん利用推進協議会」などの各消費者団体やその年のテーマに合った参加団体などの参加により、パネル展示形式により開催する。			事業目的	私たちの生活が安全で健康的に営めるよう、また、どのように消費環境と関わっているのかなど、様々な事例を通して啓発する。					
(3) 事業内容	内容				当該年度執行計画	毎月、第三木曜日に消費生活展実行委員会を年度内において11回定期的に開催する。消費生活展開催に向けて、リーフレット・パンフレット・展示パネル・アトラクション・ポスター・チラシ・来場者アンケート・スタンブラリーなどの内容について検討し、開催する。					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	人	想定値	800
当該(開始)年度	生活展入場者予定者数 800名				直接	入場者数		人		実績値	0
3年後	生活展入場者				-	入場者数					0
最終(概ね5年後)	生活展入場者数				-	入場者数					0
(7) 事業実施上の課題と対応	開催会場選びなど、来場者増を検討する。				代替案検討	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無					
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		負担金	865		負担金	870			負担金	870	
		嘱託職員人件費	450		嘱託職員人件費	450			嘱託職員人件費	450	
	予算(済)額	合計	1,315	合計	1,320	合計	1,320	合計	1,320		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		1,315		1,320		1,320		1,320		
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 債務 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.2		0.2		0.2		0.2		
	正職員人件費		1,900		1,900		1,900		1,900		
	嘱託職員報酬額		450		450		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		3,215		3,220		3,220		3,220		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	4.08千円/人		4.03千円/人								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	私たちの生活が安全で健康的に営めるよう、また、どのような消費環境と関わっているのかなど、様々な事例を通して啓発していく必要がある。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> ②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input checked="" type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input checked="" type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容>		参加団体による実行委員会にて企画運営を行い、実行委員会の一員として市が会計を担当する。				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>		生活展のテーマに環境を意識したものを取り上げている。				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率		○要 ○不要
	0	800	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)		達成率(%) (f/b×100)		
	<その他の内容>				実績値(g) (千円)		対事業費(%) (g/c)×100		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値(h) (千円)		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 ○①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		達成率		○要 ○不要
	24.84	人	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(i) (人)		対目標値(%) (i/e)×100		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (1525), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and cost-effectiveness.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status row.

Final evaluation and improvement direction section with a '評価コメント' (Evaluation Comment) field.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	1687	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	TEGAスタンプラリー		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・商工観光課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成23年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,300千円 (うち人件費 1,900千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、文化・歴史など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用しながら、交流人口の拡大に努めます。			事業目的	1. 手賀沼のPRと手賀沼周辺の自然及び観光スポットを広く紹介する。 2. レンタサイクルを活用した、自転車や散歩での健康増進のきっかけづくりや家族でのふれあいの機会を提供する。					
(3) 事業内容	内容	平成23年度の実施形式をもとに、手賀沼・手賀川周辺をT、E、G、Aの4つのゾーンに分け、各観光拠点にスタンプを設置。4つまたは3つのゾーンのスタンプを集め応募。当選者に景品を進呈。また、各観光拠点間の連携を図るため、パンフレットの相互設置の推進や勉強会等の開催を実施する。			当該年度執行計画	1. スタンプ設置候補地を選定する。 2. ポスター・チラシ兼スタンプカードを作成する。 3. 景品の選定及び購入 4. 開催期間を決めて実行する。 5. 手賀沼・手賀川に特化したマップの作成					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	人	想定値	500
当該(開始)年度	手賀沼、手賀川周辺の交流人口の拡大図り商業の活性化に繋げる。				直接	スタンプラリー応募人数		人		実績値	0
3年後	未定				直接			人			0
最終(概ね5年後)	未定				直接			人			0
(7) 事業実施上の課題と対応	柏市、印西市との協働事業となるため、同一条件のための協議が必要。スタンプカードの配布場所やスタンプの設置施設との協議が必要。結果を踏まえ検証し、来年度以降の取組みについて検討する。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		柏市・印西市広域連携負担金	500		柏市・印西市広域連携負担金	400			柏市・印西市広域連携負担金	400	
	予算(済)額	合計	500	合計	400	合計	400	合計	400		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源		500		400		400		400		
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.3		0.2		0.2		0.2		
	正職員人件費		2,850		1,900		1,900		1,900		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		3,350		2,300		2,300		2,300		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	2.12千円/人		4.6千円/人								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	手賀沼・手賀川の豊かな自然や文化歴史など我孫子の観光資源を活用すること、また、手賀沼周辺レンタサイクルの魅力を上向して活用の増加を図るためには、柏市、印西市と連携して広域的に展開する必要があります。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである (理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)		スタンプを設置する手賀沼、手賀川周辺の観光施設による市民参加があり、相互連携を図ることでより魅力的な事業展開を行う。また、ラリー参加者の多くは我孫子市、印西市、柏市の市民であり、我孫子市民にとっては新たな我孫子の楽しみ方の提供、近隣市の方にとっては我孫子に訪れる、再訪するきっかけとなる。				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		手賀沼、手賀川周辺の観光施設を中心にスタンプラリーを実施。移動手段としてレンタサイクルやウォーキングを推奨。				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (人)	目標値 (b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	500	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (人)	達成率 (%) (f/b × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □②現行体制での対応 ■③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c × 100)	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	2,300	1,050	<削減の内容> 23年度購入備品分の備品購入費の削減。		<超過理由等>				
事業費削減率 (%)		31.34							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	21.74		単位	費用単位	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e × 100)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
			人	10万円					

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント				改善策及び展開方向				

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (1747), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 23, 24, 25, and 26.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	1812	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	空き店舗活用補助事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名 環境経済部・商工観光課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 ■湖北 ■新木 ■布佐 □全市						
	⑤事業期間	平成23年度 ~		⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.06人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初) 7,512千円 (うち人件費 570千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21101	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2		基本計画地区別計画への位置づけ ○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市商業活性化ビジョン				
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域に密着した商業の活性化を図るため、個店の専門性の強化や我孫子市ふるさと商品の開発などによる特色ある商店づくりや、買い物しやすい環境づくりなど、商業者が市民、農業者などのさまざまな主体と連携しながら、消費者ニーズにあった新たな商業展開が行えるよう支援します。また、我孫子の観光資源をいか			事業目的	市の東部（湖北・新木・布佐地区）に目立つ空き店舗への出店を促し、商業の活性化および地元住民の買い物利便性の向上を図る。					
(3) 事業内容	内容	空き店舗の利用促進及び賑わいづくりのため、指定地区（アビコレジショピングセンター、久寺家通り商店会、湖北台中央商店会、湖北台仲通商店会、湖北台南口商店会、一番街商店会、我孫子市商工会湖北地区会、あらか商店会、布佐商興会）に出店した事業者に対して、店舗賃借料の一部を補助する。一申請者に対する補助金交付期間を「2年間」とし、1年目は賃借料月額1/2以内（補助限度月額10万円）、2年目は賃借料月額1/3以内（補助限度月額6万円）の額を交付する。			当該年度執行計画	制度の利用促進（＝空き店舗の解消）に向けてPRを行う。					
		当該年度活動結果指標	補助金の申請件数（＝空き店舗への出店件数）	単位	件	想定値	10				
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該(開始)年度	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	補助金の申請件数（＝空き店舗への出店件数）		件	8	10		
3年後	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	制度を利用して出店した後、営業を継続している延べ店舗数		件	0	10		
最終(概ね5年後)	指定区域の空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の向上を図る。			直接	制度を利用して出店した後、営業を継続している延べ店舗数		件	0	20		
(7) 事業実施上の課題と対応				代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		*	空き店舗活用補助金	775		空き店舗活用補助金	6,942		空き店舗活用補助金	6,942	
		合計	775	合計	6,942	合計	6,942	合計	6,942		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%		
	一般財源		775		6,942		6,942		6,942		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.16		0.06		0.06		0.06		
	正職員人件費		1,520		570		570		570		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)		2,295		7,512		7,512		7,512			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		286.88千円/件		751.2千円/件							
2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))			改善検討				
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	指定区域は、高齢化の進展が著しい地区もあり、「歩いて買い物に行ける」環境づくりが求められているが、空き店舗が目立ち、商店の立地がまばらになっているなど、地域住民のニーズに応えられる商業環境が整っていない状況にある。そのため、空き店舗への出店を促し、地域住民の買い物環境の充実および商業の活性化を図る必要がある。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>			○要 ○不要			
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <市実施の具体的な内容・必要性の理由> ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>			○要 ○不要			
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ○不要		
	環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし			実施した具体的な内容			環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ○不要		
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況 実績値(f)(件) 達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要		
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円) 事業費削減額(d)(千円) 7,512 △5,217 事業費削減率(%) △227.32	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実施状況 実績値(g)(千円) 対事業費(%) (g/c)×100		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			○要 ○不要	
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)	計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況 実績値(h) 対目標値(%) (h/e)×100	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>				○要 ○不要	
3. 事後評価											
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)											
評価	評価コメント			改善策及び展開方向							

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (1815), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等, ⑪単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定は適切か?, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (1861), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, objectives, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final summary table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	1863	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	インターネットショッピングモール出店補助事業		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・商工観光課				
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.07人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	2,665千円 (うち人件費 665千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21401	重点プロジェクトへの位置づけ	重点2	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	新たな企業の立地支援策や我孫子の環境にふさわしい業種など、産業振興に関する方針や計画を策定するとともに、企業立地を支援する体制を整備して、まちに活力を生み出す産業振興を進めます。また、市内での多様な主体から生まれる起業や事業者による創業への相談体制の充実を図り、新たな産業の育成に努めます			事業目的	インターネット販売を行う事業者の誘致、市内に店舗を構えて事業を行う事業者のインターネット販売による販路の拡大、事業の拡大から税収の増加、雇用の拡大に繋げる。							
(3) 事業内容	内容	我孫子市は人材、買貨料、運送料等、インターネット販売を行う上でメリットとなる面が多く、現在インターネット販売を行う市内事業者には毎年事業を拡大し売り上げの増加、雇用の増加をしている事業者も数多い。市では、インターネットショッピングモールに新たに店舗を出す事業者に対し、出店料の一部を補助することで我孫子市でインターネット販売を行うことのメリットをPRし、インターネット販売を行う事業者の誘致、市内に店舗を構えて事業を行う事業者のインターネット販売による販路の拡大、事業の拡大を促す。			当該年度執行計画	4月～6月中に制度をスタートし、制度の利用促進に向けてPRを行う。							
		当該年度活動結果指標	補助金の申請件数	単位	件	想定値	10	実績値					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該(開始)年度	インターネット販売事業者の誘致、事業拡大により税収、雇用の拡大する				直接	補助金の申請件数		件	0	10			
3年後	インターネット販売事業者の誘致、事業拡大により税収、雇用の拡大する				間接	補助金申請事業者の市民の雇用人数の増加数		人	0	30			
最終(概ね5年後)	インターネット販売事業者の誘致、事業拡大により税収、雇用の拡大する				間接	補助金申請事業者の売上増加率 (現況売上/申請前売上×100)		%	0	150			
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ○無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	実績値(千円)	政策	内容	金額(千円)		
						* インターネットショッピングモール出店料補助金	2,000			インターネットショッピングモール出店料補助金	4,000	インターネットショッピングモール出店料補助金	4,000
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計		合計			合計		合計				
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
		県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
		起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
		一般財源			0			2,000				4,000	
(10) 人件費等	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	換算人数(人)	0		0.07			0.07		0.07			
		正職員人件費	0		665			665		665			
		嘱託職員報酬額	0		0			0		0			
		臨時職員賃金額	0		0			0		0			
		事業費(予算(済)額+正職員人件費)	0		2,665			4,665		4,665			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/**		266.5千円/件										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	空き事業所の増加、若者の市外転出、雇用の減少などさまざまな課題がある中、市場を拡大しているインターネットショッピングの事業者により市内で事業を拡大してもらうことで課題解消に繋がるため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (件)	目標値 (b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要
	0	10	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (件)	達成率 (%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	削減の内容		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c×100)	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	2,665	—	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		<超過理由等>				○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.38	単位: 費用単位 / 件	●①単年度の指標: 目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標: (目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e×100)			○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (1864), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and cost-effectiveness.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for comments and future directions.

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (1930), 課コード (0403), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等, ⑪単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	1968	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	布佐地区復興支援事業		実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	環境経済部・商工観光課		
	③事業主体	○市 ●その他 ()			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成24年度 ~			⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.02人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	740千円		当該(開始)年度	(当初)	740千円 (うち人件費 190千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	21102	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ○無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	商業の活性化を図るため、商工会や商店会などの商業団体が、市民、農業者などと連携しながら行う、地域に密着したイベントなどの活動を支援します。			事業目的	東日本大震災で甚大な被害を受けた、我孫子市の東端に位置する「布佐地区」に元気を取り戻すための支援をする。					
(3) 事業内容	内容	東日本大震災で甚大な被害を受けた、我孫子市の東端に位置する「布佐地区」が元気を取り戻すため、応募総数368点の中から投票で選ばれた「ふさだ だしお」の着ぐるみを「がんばろう千葉！」市町村復興交付金を活用して製作する。市主催のイベントでの活用だけでなく、地元の商店会・自治会・市民団体等の主催するイベントへの貸し出しなど、あらゆるイベント等に活用し布佐地区の復興を支援する。			当該年度執行計画	6月～9月 「ふさだ だしお」着ぐるみ製作 9月～3月 イベント等での着ぐるみ活用					
		当該年度活動結果指標	着ぐるみの活用回数	単位	回	想定値	3		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	「ふさだ だしお」の着ぐるみを、あらゆるイベント等に活用し布佐地区の復興を支援する。				直接	着ぐるみの活用回数		回	0	3	
3年後	イベント等での活用方法の拡充を検討する				直接	着ぐるみの活用回数		回	0	8	
最終(概ね5年後)	イベント等での活用方法の拡充を検討する				直接	着ぐるみの活用回数		回	0	10	
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度			平成25年度		平成26年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
(9) 財源内訳	予算(済)額	合計	0	合計	550	合計	0	合計	0		
	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	100%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		0		0		0		0		
	その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0		0.02		0.02		0.02		
	正職員人件費		0		190		190		190		
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0		0		0		
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)		0		740		190		190		
(11) 単位費用	(事業費/活動結果指標)		0千円/**	246.67千円/回							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他 			<ul style="list-style-type: none"> ○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容> 				○要 ○不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	<ul style="list-style-type: none"> ○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容> 			<ul style="list-style-type: none"> 実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因> 				○要 ○不要	
	環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	<ul style="list-style-type: none"> □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> なし 			<ul style="list-style-type: none"> 実施した具体的な内容 環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因> 				○要 ○不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 		○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実施状況		<ul style="list-style-type: none"> ○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因> 		○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<ul style="list-style-type: none"> ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 		○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			